

カミコウチテンナンショウ

Arisaema ishizuchiense Murata subsp. *brevicollum* (H. Ohashi et J. Murata) Seriz. サトイモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

福井県が分布の南限で、生育地が極めて限定されており、個体数も少ない。過去10年間未確認。

分 布

本州（中部地方）の亜高山帯の林下に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

種の特徴

亜高山帯に生える多年生草本。高さは10～20cm。葉は1～2個が鳥足状に付き、小葉は5枚で、楕円形～倒卵形。花期は5～7月。花序は葉よりも先に開く。仏炎苞は濃紫色で緑色を帯びず、条がある。花柄は葉柄より常に短い。付属体は太い棒状で濃紫色。

生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

サジオモダカ

Alisma plantago-aquatica L. var. *orientale* Sam. オモダカ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

絶滅危惧Ⅱ類とされた前回調査では敦賀市で生育が確認されたが、今回調査では県内での生育が確認されなかったため、絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

北海道～本州に分布する。もともと北日本に多く、西日本に少ない。県内では敦賀市と福井市で記録がある。

種の特徴

水田や農業水路に生える抽水性～湿生のサジオモダカ属多年草。かつては水田の主要雑草でもあった。葉身は楕円形で基部は円形になり、葉柄との境が明瞭である点で、葉柄との境が不明瞭である類似種のヘラオモダカと区別できる。

生育を脅かす要因

農業水路の改変や消失及び水田耕種作業の変化が生育を脅かす主要因である。

参考文献 浜島繁隆・須賀瑛文（2005）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

スブタ

Blyxa echinosperma (C.B. Clarke) Hook. f. トチカガミ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

湿田の乾田化や除草剤の影響により、激減したと考えられる。

分 布

本州～琉球に分布し、県内では丹南地域～若狭町にかけて記録がある。

種の特徴

浅い池や湿田等に生育する一年生の沈水植物。葉は線形で根生し、花は白色で小さく、葉腋から水面に伸びる花柄に付く。

生育を脅かす要因

水田の乾田化、湿地の開発、水質汚濁、農薬汚染。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○	○					○					